

# おおもとウィメンズクリニック Vol.18 18周年記念版



18周年に際して

院長 大本裕之

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になり、感染は続きますが、世の中は変わりました。しかし、クリニックにおける感染に対する基本的理念、基本的行動、基本方針に変わりはなく、引き続き努力してまいります。

世界バラ会議福山大会 2025 までカウントダウンが始まっています。開院十八年、ばらのクリニックとして癒しの空間を創り、診療してきました。昨年は**ばら花壇コンクールはなの部門大賞**を連続受賞、そして**ガーデンツーリズム部門大賞**を受賞しました。ローズマインド（思いやり・優しさ・助け合いの心）を育みながら咲き誇るよう、職員一同手を掛けたいと思います。

マイナンバーカードによるオンライン資格確認が始まり、電子処方箋の発行体制も整備しましたが、まだ医療 DX の第一歩です。これからクリニックにも求められる、新たな診療に十分答えられるように引き続き医療体制を整え、良質な医療とサービスを提供いたします。そして患者様と向き合い、当院の理念【すべての女性のためのクリニック】をさらに目指します。

## 振り返るのはやめました - 「いいこと日記」から -

副院長 大本佳恵

これまでのクリニックレターはほぼ毎回、「この1年間を振り返って…」と綴っていました。今回は私がクリニックで患者さまにもお勧めしている「いいこと日記」について、私事ですが今現在出来るようになったことを羅列してみます。

- 病気療養後は休まず診療出来た
- 熱い紅茶が飲めるようになった
- お酒も少しずつ飲めるようになった
- 運転しようと思えた
- 泊りの学会出張に参加できた
- シャワーしても苦痛でなくなった
- ばらのお掃除も出来た
- スマホが触れるようになった
- 自然に笑えるようになった…などなど

これらは、半年前には出来なかった私の姿です。「小さなことでも出来たことを毎日一つでいいから書き残してみましよう」と自己肯定感が下がってしまった方にこの「いいこと日記」を外来診療でお勧めしていました。その結果は「案外出来る事あるじゃない！」と何気にやった事で自分に自信を持ち、「明日はこれやれるかも！」と前進される姿を多く診てきましたし、ダメダメ自分への振り返りが少なくなっていることに、私自身も改めて気付かされました。

まだ万全な体調ではありませんがたくさんの患者さまからの激励、院長やスタッフからの心身に限りない応援をもらいながら、「いいこと日記」を書き続け今日も診療に努めます。

祝 連続受賞  
第56回ばら花壇コンクール  
バラの花部門 ばら花壇大賞  
ガーデンツーリズム 大賞  
を受賞いたしました



13 Jardin des Roses (おおもとウィメンズクリニック)  
アソメス 福山駅から車で約20分

大賞

庭主から一言  
2007年開院以来、明るく癒された空間になることをめざしています。

予約 受付 有(院内)  
本数 約200本 有(10台)  
住所 福山市水呑町三新田2丁目27

〒720-0830 福山市水呑町三新田2丁目27

TEL: 084-920-5155

http://ohw.jp



## 2024年度 クリニックのデータ

2024年は新規登録患者様 765人、のべ 10177人の患者様に来院いただきました。コロナ感染症の世の扱いは変わりましたが、クリニックとしての感染予防対策は継続した診療でした。多くの患者様に来院頂きました。毎年、気持ちを新たに地域医療におけるクリニックの役割・責任を思い、診療していく所存です。

子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍など良性疾患の多くは倉敷成人病センター様の腹腔鏡下手術・ロボット手術により患者様のQOLを保ちながら治療がなされました。悪性疾患は福山医療センター、福山市民病院、中国中央病院、倉敷成人病センター様などと病診連携をはかりました。子宮頸部上皮内腫瘍；高度異形成 14名、子宮頸癌 3名、子宮体癌 3名、卵巣癌 1名、虫垂癌 1名の患者さまの迅速な診断がその後の適切な医療を受けて頂ける端緒となることが出来ました。子宮頸癌は一次予防として、子宮頸癌予防ワクチン（HPV ワクチン）の国の積極的勧奨が再開され、定期接種、キャッチアップ制度により接種者は急増しました。しかし、キャッチアップ制度は二転三転され 2025年3月までに開始しなければ終了します。その啓蒙とその後の定期接種における接種率の向上が大切です。

不妊症に対しては子宮卵管造影検査を 20名に行い、排卵誘発、タイミング法、人工授精までしか扱っていませんが、ストレスが大きかからないような診療に配慮しています。高度生殖補助医療は指定医療機関様と連携を図り、よい成績を収めています。

LEP製剤（低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬：月経困難症治療薬およびピル）は月平均 422シート処方が増加していました。他の選択肢としてジェノゲスト処方、子宮内黄体ホルモン放出システムも増加し、女性の生活改善に役立っています。



## スタッフより

（看護師）看護の字は『手』と『目』で『護る』と書くように看護は『目』でみて『手』でケアをして患者さまを護ることで。

2025年、今一度基本に返り、診療の補助だけでなく患者様のふとした表情や声のトーンなど全体を見てクリニックならではの心に触れる看護ができるように努めてまいります。

（看護師）新年早々、関東で就職し、帰省できなかった息子に会いに行ってきました。ぶっさらぼうで照れやの息子と二人で居る時の居心地悪〜い空間！ えっ！ どしたん？！ 今回は息子の心遣いが・・・、なんとも居心地の良いこと、気持ちの良い気分になりました。この気持ちを忘れず、居心地の良い空間を今まで以上に大切にお待ちしています。

（看護師）クリニックの一員になって早いもので一年たちました。初めての婦人科業務、検診、体と心の健康相談、妊娠、そして癌の診断、命に触れる機会が多くありました。戸惑うこと、どう患者様に寄り添っていけば良いのか、学んだ一年でした。今後も患者様に寄り添う医療を提供できるよう、看護師としても人間としてもここで成長できたらと思っています。

（医療事務）昨年はクリニックの一員になって10年、時のたつのは早いなと思うと同時にクリニックの力になれたらうれしいと思う一年でした。11年目の2025年もクリニック全員で患者様に安心して来院し、帰って頂けるクリニックであるように頑張ってお参ります。

（医療事務）入職して仕事を覚えることで大変な1年でしたが、少しずつ患者様のお顔とお名前が一致するようになりました。今年是不安を抱えて来院される患者様に安心して頂けるよう微力ながら頑張ってお参ります。